

たけ はなし 竹 の 話

せいちょう 竹の成長

- ① 竹は、^{ぜんねん}前年の8月ごろ土の中に^め芽が出ます。
- ② 3月から6月までにタケノコが出ます。
- ③ タケノコは3か月ぐらいで^{せいちょう}成長し、以後^{いご}大きくなりません。
- ④ ^{じゅみょう}寿命は平均15年ぐらいで、タケノコは3年～5年ぐらいの^{くき}茎からよく出ます。



しゅるい 竹の種類

1. 孟宗竹(モウソウチク)

- ① ^{ちゅうごく}中国から^{えどじだい}江戸時代に^{ゆにゆう}輸入され^{けいどう}系統が広まったもので3月から4月ごろにタケノコが出ます。

太く、^{ふし}節は1^{いちじゅう}重で高さ20m、重さ80Kg位あり、タケノコは^{しょくよう}食用に^{はんばい}販売されている。

2. 淡竹(ハチク)

- ① ^{あわ}淡い色がしている竹で^{ふし}節は2^{にじゅう}重で5月に^{おい}美味しいタケノコが出ます

^{にくあつ}肉厚の^{ため}為、^{ちゃせん}茶筌やお茶の^{どうぐ}道具に^{かこう}加工されています、^{かず}数は少ない。

3. 真竹(マダケ)

- ① ^こ濃い^{みどり}緑色、^{ふし}節は2^{にじゅう}重で^{ふしかん}節間も長く5月後半から6月ごろにタケノコが出ます。

^{たけさいく}竹細工や^{のうぎょう}農業^{しざい}資材に^{りよう}利用されています、味は^{ため}えぐい^{ため}為、^{しょくよう}食用には^{たけ}人気ありません。

とくちょう 竹の特徴

- ① 竹は、木でも草でもなく、^{ねんりん}年輪もなく、中は^{くうどう ふし}空洞で節と^{せんい きょうど たも}繊維で強度を保つ。
- ② タケノコの^{かわ まいすう}皮の枚数は^{せいちょう}成長した^{ふし かす}竹節の数は^{いっしょ}一緒です。
- ③ タケノコの^{ねもと}根元の^{ぶつぶつ}より根が出て^{がんきょう}頑強に根が^は張ります。
- ④ タケノコは^{ほうさく}豊作、^{ふさく}不作が^{かくねん}隔年ありますが今年^{ふさく}は不作の年で、^{ひがい}イノシシの被害で出来はよくありません。

メモ

